

文庫あれこれ◆秋をゆっくり味わう間もなく、冬到来、のようです。◆姫しゃらの木もすっかり葉を落とし、その間から冬景色が広がっています。お隣りも、古い小屋を壊し、余分な木々を切り落として、さっぱりした駐車場ができました。びわの木がなくなってしまったのは、さびしい!◆2階から大島がくっきりと見えるのもこれからの時期です。でも今年は開放的な気持ちで眺められませんね。まだ日々、家族を失い、お家がなくて大変な思いをしておられる方を考えると。◆年忌がない限り墓参に行かない主人に、母が亡くなって10年だから、たまには行こうかと誘われ(私は義父母の命日に年2回行っています)、11月初め富士霊園に行ってきました。最愛の珍客に、義母はめったに見られない、くっきり見事な富士山を用意してくれました。◆補聴器使用にもだいぶ慣れましたが、瞬間湯沸かし器をつける瞬間のピーツという音は感覚的に不快です。◆冒頭で触れた106歳の方は今もって心血を注ぐものをお持ちだからお元気なのでしょうか。あ～あ、自分は持っているかしら夢中になるものを、と考えると、文庫にくることもそのひとつかな、と。◆みなさんも元気のもとを維持してくださいませ。◆性能の良いパソコンでも使い手がまだまだで、構成ばかりでなく、不甲斐なき内容で恐縮です。◆でも、森林浴さんの読後感想は相変わらず多岐にわたり、高原便り番外編もいろいろ書いてくださる方ありでうれしい限りです。◆足元が混んできたので、青木文庫を、絵本の部屋の上部に移しました。本を探しにいくついでに絵本もご覧ください。◆児童も一般もたくさん新刊入りしました。楽しんでお読みください。新年まであと1,5ヶ月です。元気で乗り切りましょう。◆明日土曜日は、スタッフさんをお願いして欠席します。10数年ぶりの中学の同窓会に出て日帰り、日曜はおります。(西村)

今年最後の催し物

★クリスマスおたのしみ会 & 納会★

12月22日(日)午前10:30～12:00

みんなで1年の無事を感謝しましょう。

✿交換用のプレゼントお持ちくださいね✿

✿今後の開館スケジュール✿

◆12月は変則21日(土)、22日(日)

◆1月は通常18日(土)19日(日)

◆2月は通常15日(土)16日(日)

◆3月も通常15日(土)16日(日)

文庫の時間:

土曜日は午後2時～5時

日曜日は午前10時～午後3時

♥毎月開館日(日)「子どものための
小さなおはなし会(午前10:30～
11:00)」があります♥

✿おはなし沙羅の勉強会✿

毎月開館日(土)11:00～13:00

会員のKさんが一世一代のご本を出版されました。『はつ恋の』(ペンネーム:高原七弥さん)です。Mさんがさっそく寄贈して下さいましたので、みなさんも読んで感想をKさんにお伝えしてあげてください。
★文庫本をたくさん下さったKさんとは違う方です。

沙羅の樹文庫 大室高原7-122

0557-51-3737

No87 2013年11月号

沙羅の樹文庫だより



すどうあさえ作 織茂恭子絵 岩崎書店刊

甘い柿のなる見事な木を持っている欲張りざぼんじいさん、誰にもあげずにひとり食べていると、隣に越してきた、ゆったりちゃっかりあばあさん、子どもたちといっしょに、ざぼんじいさんにひと泡ふかせてしまう楽しい話。みんなが幸せ感じる季節感溢れる話。

最近柿は子どもや若い人に敬遠されるとか。

私はかたい柿も熟した柿も冷凍柿も干し柿も大好きです!たまには、子どもの絵本で幸せ感じてください!☺

✿ ✿ ✿ ✿ ✿

川柳

老人太り

三途の川は

乗船拒否

嘉納愛子作:(106才) 声楽家

先日、テレビでこのお元気な106才を拝見。そこまでいかになくとも、嘉納さんにあやかってわれらも健康でありたいものです。

11月に読んだ本についての感想

2013年11月14日 By 森林浴

『恋しくて』 アリス・マンロー・村上春樹他 10人著 村上春樹訳 中央公論新社刊 2013年9月第1刷 恋愛小説 10篇のパック。2013年のノーベル文学賞が10月に発表されるのに時期を合わせてこの本が9月に出たのは偶然なのだろうか？英米9人の恋愛小説を村上が選び、自分の作品も最期に入れて10篇としているが、そのうちアリス・マンローの小説「ジャック・ランダ・ホテル」だけは、柴田元幸が推薦したものらしい。（やはり柴田元幸！よく見ている。凄い。）翻訳はすべて村上が行っている。各作品の後に、お酒とかお菓子にメーカーがつけるように、村上のつけた「恋愛甘苦度」なるものが付いている。アリス・マンローの小説には甘味 1.5、苦味 3.5 と評価がついている。なるほど！村上は自分の小説「恋するザムザ」には甘味 3.0、苦味 2.0 とつけている。それはフランツ・カフカの「変身」を真似た（？）奇妙な短編。

『小説のように』 アリス・マンロー著 小竹由美子訳 新潮社刊 2010年11月刊

10編の短編小説集。アリス・マンローはカナダの短編小説の名手。今年のノーベル文学賞を貰ったというので読んだ。なるほど凄い人だ。どの短編も密度が高く構成が凝って

て、うっかり読んでいるとポイントを見過ごすことになる。正直私はどの作品も2度読まないで理解できなかった。どこか恐ろしいところがあり、読んでいて怖くなるものも多い。深夜とか寝る前には読まない方が良さそうなのもある。「次元」「遊離基」などは特に怖い話。最後の75頁もある「あまりに幸せ」は19世紀末のロシアの数学の天才女性の話。題名が(Too much happiness)とはね。とにかくこんな隙のない見事な文章の書ける人はなかなかいるものではない。

イギリスの著名な文学賞・国際ブッカー賞を受賞したときは、審査員代表が「マンローの作品は文字通り完璧。どんな作家もその筆さばきの玄妙さ、精密さにはぼかんとして見とれるしかない、マンローは三十ページで他の作家の丸一冊以上のことを描く」と評したという。

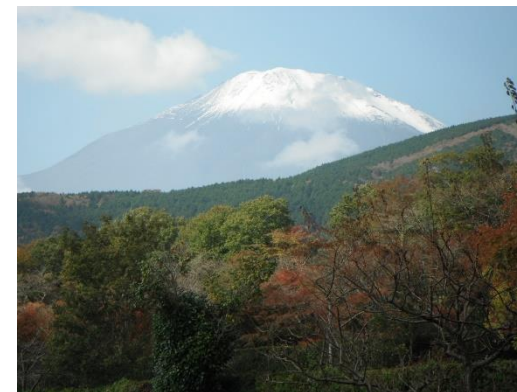
『林檎の木の下で』 アリス・マンロー著 小竹由美子訳 新潮社刊 2007年3月刊

これは6年前に出た本で、文庫の購入をする方の目利きに感心。

著者の生い立ち、一家の移民前と移民後の生活体験など三世紀を貫いて描かれた作家自身の一族の物語。さりとて長編小説ではなく、短編小説の集合体。

この本の読後感想はまた改めて

晩秋の富士(富士霊園から望む)



ちょっとご紹介 子どもの本なつかしい本

『トーマス・ケンプの幽霊』 ペネロピ・ライヴリィ作／田中明子訳 評論社(児童図書館・文学の部屋) 1976

イギリスのオックスフォードの近郊レドシヤムが舞台です。

ハリソン一家(夫妻、ヘレン、ジェームズ姉弟)が、町の東端にあるのでイーストエンド荘と呼ばれている家に引越してきました。何百年も前に建てられた古い家で、前に住んでいた老人夫婦が移ってから無人が長く、かなりの手入れが必要で、特にジェームズの部屋は、釘で打ちつけられ100年このかた誰も入ったことがない埃高き部屋……。

やがてジェームズは、トーマス・ケンプと名乗るポルターガイストに脅かされるようになります。ゾクッとそして悲しみとおかしみを感じる本です。

ジェームズと同年代(小学校高学年)の特に男の子、とおかあさんに読んでみてほしい本。(さ・ら)

11月に文庫に新しく入った子どもの本

絵本

『からすのやおやさん』『からすのおかしやさん』『からすのそばやさん』(かこさとし作 偕成社)『ぼくはここにいる』(ピーター・レイノルズ作 小峰書店 2013)『いちばんちいさなクリスマスプレゼント』(ピーター・レイノルズぶん・え 主婦の友社 2013)『ふしぎなよる』(ラーゲルレーヴ原作 こいずみるみこ絵 女子パウロ会 2013)『えのすきなねこさん』(にしまきかや作 童心社)『ゴナンとかいぶつ』(ガンバートル文 ポロルマー絵 偕成社 2013)『うみぼうず』『かっぱ』『のっぺらぼう』(杉山亮作 軽部武宏絵 ポプラ社)『わたしの1ばんあのこの1ばん』(ウォルチ作 パートン絵 ポプラ社 2013)『こぐまのくうちゃん』(あまんきみこ文 黒井健絵 童心社 2013)『いじめっこ』(シーガ作 なかがわちひろ訳 あすなろ書房 2013)『ねこのピート』(リトウィン作 ディーン絵 ひさかたチャイルド 2013)『さみしかった本』(バーンハイマー文シーバン絵 岩崎書店 2013)『ジャックと豆の木』(シェリー再話・絵 福音館書店 2013)『天さあがった男』(鈴木サツ語り 片山健絵 瑞雲舎)『狐とかわうその知恵くらべ』(鈴木サツ語り 太田大八絵 瑞雲舎)『ハーキン』(バーニングムさく 童話館出版)『みなまた海のこえ』(石牟礼道子ぶん 丸木俊・位里え 小峰書店)『ペンキやさん』(あおきあさみさく 福音館書店 2013)

読み物

『花びら姫とねこ魔女』(朽木祥作 こみねゆら絵 小学館 2013)『銀河鉄道の夜』宮沢賢治作 金井一郎絵 三起商行)※以上2冊は絵本ですが、読み物に。
『クモばんぼとぎんのくつした』(仁科幸子作 偕成社 2013)『じけんだよ!全員集合』(杉山亮作 偕成社)『みんなの家出』(藤田のぼる作 早川順子画 福

音館書店 2013)『カメレオンのレオンー小学校の秘密の通路』(岡田淳作 偕成社 2013)『水の際とふしぎなカヌー(こそあどの森の物語)』(岡田淳作 理論社)※こそあど最新作『光のうつつえ』(朽木祥作 講談社 2013)

『やさしい大おとこ』(スロボトキン作 徳間書店 2013)『ゆうかなな女の子ラモーナ』(クリアー作 学研)『ただいま!マラング村ータンザニアの男の子のお話』(ハンナ・ショット作 徳間書店 2013)『リングの木の上のおばあさん』(ミラ・ローペ作 岩波少年文庫 2013)『おいでフレック、ぼくのところに』(イボットソン作 偕成社 2013)『日ざかり村に戦争がくる』(ファリアス作 福音館書店 2013)『ローズの小さな図書館』(ホルト作 徳間書店 2013)『ガフルの勇者たち 1』『ガフルの勇者たち 2』(ラスキー作 メディアファクトリー)※request 続刊 続々入ります。『シェイクスピア物語 上・下』(ラム作 偕成社文庫)

詩・うた

『ふくしまのわらべうた』(児童図書館研究会福島支部 編・刊)

11月に文庫に新しく入った大人の本

読み物

『本屋さんで待ちあわせ』(三浦しをん著 大和書房 2013)※request『ロスジェネの逆襲』(池井戸潤著 ダイアモンド社 2012)『犬から聞いた素敵な話』(山口花著 東邦出版 2013)『去年の冬、きみと別れ』(中村文則著 幻冬舎 2013)『番犬は庭を守る』(岩井俊二著 幻冬舎 2012)『晩夏光』(池田久輝著 角川春樹事務所 2013)『正妻 上・下』(林真理子著 講談社 2013)『火山のふもとで』(松家仁之著 新潮社

2012)『沈むフランシス』(松家仁之著 新潮社 2013)※request『未明の闘争』(保坂和志著 2013)

『イラクサ』(アリス・マンロー著 小竹由美子訳 新潮社 2013)※request『アメリカン・マスターピース 古典篇ー柴田元幸翻訳叢書』(ホーソンほか著 柴田元幸訳 スイッチ・パブリッシング 2013)

エッセイ・ノンフィクションほか

『別れの挨拶』(丸谷才一著 集英社 2013)※request『サリンジャーー生涯91年の真実』(スラウエンスキー著 晶文社 2013)『みがけば光る』(石井桃子著 河出書房新社 2013)『物語ること、生きること』(上橋菜穂子著 講談社 2013)『やまなば』(市原悦子著 春秋社 2013)『猿まわし-被差別の民俗学』(筒井功著 河出書房新社 2013)

文庫

『君のためなら千回でも 上・下』(ホッセイニ著 早川文庫)※request『市立第二中学校』(椰月美智子著 講談社文庫 2013)※request『光』(三浦しをん著 集英社文庫 2013)※request『ハルさん』(藤野恵美著 創元推理文庫 2013)『ラヴレター』(岩井俊二著 角川文庫)『ひとにぎりの黄金』(エイキン著 竹書房文庫 2013)

『ことばの心 言葉の力』(加賀美幸子著 小学館文庫 2013)『橋の上の殺意』(鎌田慧著 講談社文庫 2013)

寄贈

『はつ恋の』(高原七弥著 東洋出版 2013)『黎明に起つ』(伊東潤著 NHK出版 2013)『未決 吉原裏同心19』(佐伯泰英著 光文社文庫)『茶葉 交代寄合伊那衆異聞』(佐伯安英著 講談社)♥♥♥先月、佐伯泰英著(祥伝社文庫・密命シリーズ)たくさん寄贈いただいたKさんのお名前を間違えました。再びの感謝と、深謝いたします。(さら)♥♥♥

伊豆高原便り 番外編

「日本ジオパーク全国大会 in 隠岐」 に参加してきました

みなさまには「ジオ」という言葉は耳慣れないものかもしれません。昨年、伊豆半島が「日本ジオパーク」に認定され新聞にも載りましたので少しわかってきたような……。ジオパークとは「大地の公園」とも呼ばれて、美しい地質遺産を持つ自然公園を指しています。日本中には30か所以上の認定されたジオパークがあり、今回隠岐が「世界」ジオパークに認定されたので隠岐で全国大会が開催されたのですが、この大会に佃市長、伊豆市市議（大島町長も参加されていたので、台風の「避難指示」をめぐって、後で大変でした。）をはじめ、ジオガイドさんたちを含め、伊豆半島から20人以上の人が参加しました。ジオ菓子旅行団の方たちも（若いお嬢さん二人ががんばって作っているジオ菓子も伊豆のお土産にごひいきに！）。フランスの方の報告もありました。

今回のツアーも、室内での全国大会に半日参加したほかは、海岸・石・岩・地形を見て歩きました。もちろん自然やそこで育まれた生活・文化も「ジオパーク認定」には大事な点なので、神社や船小屋、その周辺にある滝や巨樹なども訪ねました。ジオに興味があって参加したわけではない私には、結構きついウォーキングでした。

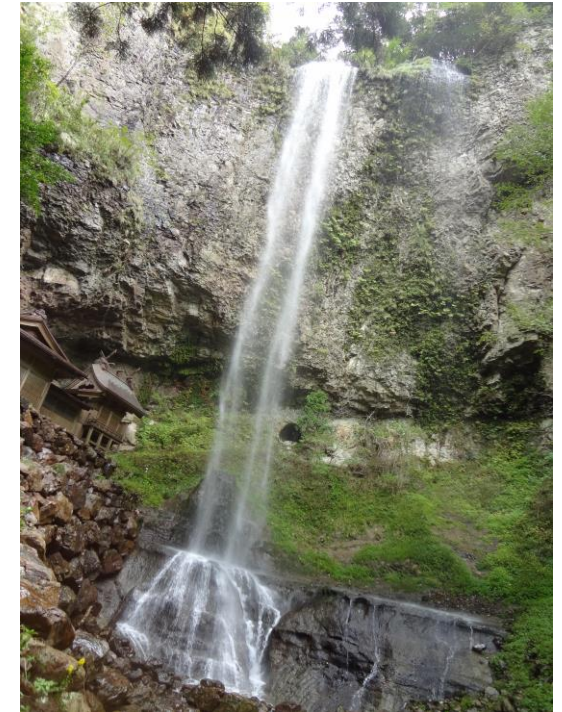


知夫赤壁(島前の知夫村)



グリーンターフ・緑色の岩(島後の隠岐の島町)

増鏡の滝 島後の隠岐の島町



伊豆半島も「世界」をねらっています。伊豆半島の魅力は、住んでいるみなさんが一番よく知っていると思いますが、「南から来た火山の贈りもの」をメインテーマに、伊東では4000年前の噴火でできた「大室山」。その溶岩が流れてできた溶岩流、柱状節理と言われる独特な地形が「城ヶ崎海岸」に見られます。大室山に至るバス通りにも珍しい地層が見られますよ。（中西 景子）